

市仏連会報

発行所
 横浜市中区大平町96
 光明山西有寺内
 横浜市仏教連合会
 電話 045(661)0166

年頭挨拶

横浜市仏教連合会会長 柳 下降 侃

元日や迷土の旅の一里塚、芽出たくもあり、芽出たくもなし、と云われておりますが、年々加速度がついて一年のリサイクルが早いこと早いこと、何もまとまった仕事も出来ないうちにまた新年を迎えることになりました。

昨年度、春は遠州の仏跡参拝、秋は高野山と奈良シルクロード展見学、上岡の神奈川県戦死者慰霊堂に於ける月並祭法要に奉仕、また二月十三日には瀬谷区仏教会当番のもと長天寺に於て釈尊涅槃会法要を盛會裡に厳修し、横浜市釈尊奉讃会の皆様及びご参加いただいた檀信徒の方に深い感銘を与えることの出来ましたのは、当番区仏教会はもちろんのことでありますが、偏に横浜市仏教連合会諸大徳のお蔭であり、今後も色々の行事を通して市仏教連合会の充実発展に御指導、御鞭撻を御願ひ申し上げます。

次に上部団体である神奈川県仏教会創設五十周年記念大会が昨年十一月八日に大本山川崎大師平間寺信徒会館に於て盛大に開催されました。この大会は市仏教連合会の会員である福永隆昭県仏教会長の人徳と実行力と共に、横浜市仏教連合会の各区仏教会長及び役員のご努力と諸大徳、並に横浜市政尊奉讃会の皆様の格別なる御援助

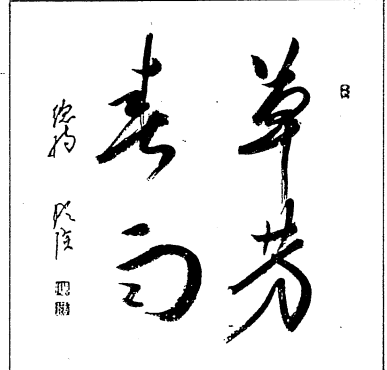
御協力のお蔭様であったことを横浜市仏教連合会会長として、また大会実行委員長として篤く御礼申し上げます。誠に有難うございました。

本年は横浜市釈尊奉讃会創立十周年に当り記念行事が行なわれることと存じますが、私達仏教寺院の教化の一面をになって活動していただいている功績はまことに多大なるものでありますので、諸大徳におかれましては一層の育成と発展に御協力をいたゞきたく御願ひ致します。

次に税務問題であります。不公平税制は正の世論と共に年々難かしくなっております。立ち入り検査等に色々のことが指摘され、寺院だからといって昔の様にのほほんとしてはいられない時代になってまいりました。今後ますます色々の面に於て検査取り締りが強化されてまいります。市仏教連合会に於ても緑区仏教会長の斎藤僧正が税務委員長として活躍していただいておりますが、県仏教会に於ても全日本仏教会、山一証券横浜支店等の御協力をいたゞいて、これに処する税務講習会を横浜に於て開催する予定のもとに準備が進められております。決定次第発表されますが是非出席されまして勉強し、まごつかぬ様対処

されまことを希望致します。最後に本年は会長、副会長等改選の年であります。新しい役員のもとに横浜市仏教連合会が益々充実発展されますことを祈念し、併て今迄長期に亘ります御協力、御援助に御礼申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

師に一弁香をたいた。私しも宗門の発展と皆様の法愛を願って拝登をすませた。
 本年は特に大行天皇の萌御と言うことで年賀の拝登は如何にするのか気にしてはいたが、平常通り拝登することができた。しかし、大祖堂の右奥には大行天皇尊儀と



本会名誉会長 梅田信隆禪師書

年賀拝登をすませて

副会長兼専務理事 玄野 孝 善
 一月十一日は大本山総持寺の年賀拝登の日である。
 午前十一時半、総持寺大祖堂に木版がひびき曹洞宗神奈川県第二宗務所の拝登である。それぞれに年頭の思いを託し、御開山笠山禪

書かれた大きな位牌がまつられ白い菊の花が一对供えられ、こにお焼香の準備がなされていて拝登者全員陛下の御冥福をお祈りし、本会名誉会長である梅田信隆禪師に拝門をした。
 禪師は御多忙にもかかわらずお元気で拝門をお受け下され本年もよろしくとのお言葉をいたゞきました。

第十四回釈尊涅槃会

- 一、日時 平成元年二月七日(火・友) 午後一時受付
- 一、場所 「西有寺」 横浜市中区大平町九六
- 一、会費 無 料
- 一、記念講演 「ある山寺の記」
- 一、講師 曹洞宗布教師会前関東管区長 広見寺住職町田大謙老師

年頭の挨拶

横浜市釈尊奉讃会長 宇野忠夫

新年に当り皆さまの御健康を心から御祈り申し上げます。

皆さまと共に私も更に新しい決意をもって使命を果たしたいとお誓いするものです。

昨年の十一月八日県仏教会の創立五十周年記念式典が川崎大師の大講堂で盛大に挙行されて、近來にない多くの仏教徒の集いが行なわれて、真に心強い思いがいたした次第であります。

その節に私どもの横浜釈尊奉讃会も功績を認められ、表彰を受けました。私も関係者一同は、この御厚意に対して、今后一層の努力を盡すべくお誓いするものであります。

また、先般の高野山参拝旅行には、お蔭さまで楽しい思い出ができました。誠にありがたく、本稿をお借りして厚く御礼を申し上げる次第であります。

さて、世間は昨年末から起った「リクルート・コスモス」事件と称する政治がらみの利権問題で、中央、地方の議会をあげて騒然たる有様です。

目下この事件が今後も益々発展しそうな気配であり、無関係なわれわれ国民は政治に不信を高めるような気がしてならない次第であります。

今、わが国の円高経済の中で、在日海外留学生の生活苦の問題が大きな課題となっております。

このことは、ご高承の方も多いと思います。

若い頃、長い海外生活を過ごしてきた経験のある私には、彼等の苦しみがよく判り、気の毒でなりません。

県市民のあたたかい手が彼等留學生たちの上に差しのべられるように切望する次第であります。また同時に一般社会の更にあたたかい愛情が一層望まれます。そしてこれがみ仏の慈悲心にもつながるものと私は感ずるものです。

市仏連行事に参加して

瀬谷区長天寺住職 三田裕道

◎ その一 第十三回涅槃會

昭和六十二年の秋に開かれた区仏会議の席上、市仏主催涅槃會の件が議題に上り、瀬谷区が当番区との報告がなされた。当区の寺院数は八ヶ寺、これは人手不足をも意味する。区仏会長も市仏会議では、人少を理由に当区での開催を断わり続けたそうであるが、全区一巡し、残るは当区のみとのこと。『それでは当区で行ないましょう。』

う行う以上は立派な涅槃會を！』との合言葉のもと、八ヶ寺の和尚がガッチリとスクラムを組んだ。ところが、駅に一番近く分り易い場所、ということ、拙寺が会場寺院となったのは弱った。涅槃會が行われる二月は厳寒の真最中、式を行、本堂には暖房は

無く、庫裡とて多勢の随喜寺院を収容するには手狭だし、等々の不安が次から次と湧出してきます。がしかしそうした杞憂は凡て霧散し、区仏和尚方の用意周到な手順で、拙寺世話人衆の前日当日の手伝い、そして二月十三日涅槃會当日の、仏天の御加護とも云うべき温暖な好天氣に恵まれ、多数の善男善女が集つての式が盛大かつ荘厳に修行出来たことに安堵し、ただたゞ会中参加の皆様に合掌低頭した次第です。

反省すべき点は、市仏と区仏の連携をより密にし、計画の徹底を計ることが肝要と痛感した次第です。

無く、庫裡とて多勢の随喜寺院を収容するのには手狭だし、等々の不安が次から次と湧出してきます。がしかしそうした杞憂は凡て霧散し、区仏和尚方の用意周到な手順で、拙寺世話人衆の前日当日の手伝い、そして二月十三日涅槃會当日の、仏天の御加護とも云うべき温暖な好天氣に恵まれ、多数の善男善女が集つての式が盛大かつ荘厳に修行出来たことに安堵し、ただたゞ会中参加の皆様に合掌低頭した次第です。

◎ その二 秋の仏蹟参拝

昭和六十三年度秋の仏蹟参拝に参加させていただきました。九月二十八日出発の朝は雨でしたが、東名を走って静岡市辺りで雨も上がり、名張を過ぎて五條へ向かう途中、山並みに沈まんとする神々しいまでの真赤な夕陽を拝むことも出来、約十一時間のバスの旅も宿坊福智院着で終了です。皆さんお疲れの様子でした。

第二日は六時より福智院本堂で朝のお勤めをし、七時すぎ、いよいよ弘法大師の靈蹟奥の院への参拝です。その参道の両脇には老杉が鬱然と茂り、おびたゞしい数の苔むした五輪の塔が林立しております。開山以来千百年余の歴史の中、日本全国の大名や名士、ま

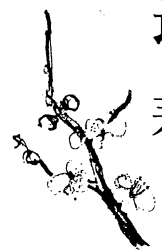
た素封家が宗旨を問わず、我が最後の安住の地を弘法大師のお膝元に求めたことに奇異と驚嘆の念を感じながら大師廟へ到着した。

大師廟の裏手、塔所にぬかづき市仏会長の維那で心経を奉誦。仏蹟参拝に参加された善男善女の読経の音声の木々の間に木霊し、尊高な感慨を抱き乍ら帰路に就いたのは私だけでなく、皆様も同様であつたと推察します。

このあと、ご本山の金剛峯寺にもお参りし、午後は鹿の戯れる奈良シルクロード博春日野会場を自由見学。五時半宿舎の奈良パークホテルに旅装を解いて懇親の宴に時のたつとも忘れ、心地よい眠りに就きました。

第三日は宇治は黄檗山万福寺に参拝し、黄檗川キハダのお話しを拝聴して衣を包む布の黄色に染めている理由を納得し、醍醐寺三寶院では特別名勝に指定されている桃山時代の庭園を拝見して見事な作庭に心洗われる思いでした。かくして予定の参拝見学は凡て消化し、醍醐プラザホテルにて昼食をとった後、名神・東名と帰路に就きました。バス車中はカラオケ大会の和やかさ。アツという間に出発地に無事帰着致しました。建長寺開山大覚禪師の遺戒に、「和合を輔弼して仏祖の本宗を味すこと莫れ」とございます。今年もは謀らずも二つの行事に参加させていただきました。市仏の行事に多くの善男善女の方達が集い、和合と精進の裡に、益々発展されんことを祈り、して擲筆します。合掌

迎春



横浜市仏教連合会 名誉会長

顧問

梅田信隆

参与

志村慎吾

参与

福永隆昭

参与

横山敏明

會長

柳下隆侃

副會長

森山正城

副會長兼専務理事

玄野孝善

會計

内野公雄

稅務研究委員長

斉藤隆法

監事

野沢隆幸

監事

川上敬吾

他役員一同

迎春 祈法愛

横浜市仏教連合会常務理事
瀬谷区仏教会会長

曹洞宗徳善寺住職

尾崎正恵

瀬谷区本郷三丁目三六一番六
電話 三〇一〇一九二

横浜市仏教連合会常務理事

栄区仏教会長

浄土宗大誓寺住職

塩沢栄一

栄区小菅ヶ谷町二六一九
電話 八九一―三三四四

横浜市仏教連合会常務理事

泉区仏教会長

浄土宗中田寺住職

香川隆善

泉区中田町二〇五四
電話 八〇二―一四一五

横浜市仏教連合会副会長兼専務理事

保土ヶ谷旭区仏教会会計監査

曹洞宗長昌寺住職

玄野孝善

旭区さちが丘五九
電話 三九一―一三七九

横浜市仏教連合会副会長
保土ヶ谷旭区仏教会副会長

臨済宗建長寺派福聚寺住職

森山正城

保土ヶ谷区岩井町五六
電話 七一一―五五九四

横浜市仏教連合会

真言宗智山派観音寺住職

柳下隆侃

港北区篠原町二七七七
電話 四三一―一四三四

横浜市仏教連合会参与

神奈川県仏教会長

天台真盛宗新善光寺住職

福永隆昭

南区三春台一三三
電話 二三一―一五七五四

横浜市仏教連合会参与

曹洞宗西有寺住職

横山敏明

中区大平町九六
電話 六六一―〇一六六

横浜市積尊奉讃会長

宇野忠夫

金沢区金沢町一
電話 七〇一―九三八三

横浜市積尊奉讃会会計

港北区仏教会事務局長

曹洞宗東照寺住職

程木徳明

港北区綱島西一―三―一五
電話 五三一―一七八三

迎春

祈法愛

横浜市仏教連合会御用達

東海ビーエス観光株式会社社長

真 川 明

南区西中町一―九
電話 二四二―七四三四

横浜市仏教連合会常務理事

戸塚区仏教会長

臨濟宗円覚寺派高松寺住職

西 尾 俊 雄

戸塚区戸塚町四八六四
電話 八六一―三二二七

横浜市仏教連合会常務理事

港北区仏教会長

曹洞宗東林寺住職

滝 田 東 潤

港北区篠原町一二五二
電話 四二二―〇三三二

横浜市仏教連合会常務理事

金沢区仏教会長

真言宗御室派薬王寺住職

鹿 野 融 雅

金沢区寺前二―二三―三一
電話 七〇一―八六四六

横浜市仏教連合会常務理事

保土ヶ谷旭区仏教会長

曹洞宗正観寺住職

善 浪 鉄 心

保土ヶ谷区東川島町四五
電話 三八一―〇六八二

横浜市仏教連合会常務理事

南・港南区仏教会長

日蓮宗常清寺住職

片 山 宣 英

南区清水ヶ丘二三一
電話 二三一―八六六二

横浜市仏教連合会常務理事

神奈川区仏教会長

高野山真言宗薬王寺住職

黒 多 良 弘

神奈川区七島町六
電話 四三四―三二四一

横浜市仏教連合会顧問弁護士

遠 藤 隆 也

東京都台東区東上野二―一八―七
電話 〇三―八三二―二八一九

横浜市仏教連合会会計監査

臨濟宗建長寺派松蔭寺住職

川 上 敬 吾

鶴見区東寺尾一―一八―一
電話 五七一―一七〇一

横浜市仏教連合会会計監査

真言宗智山派正泉寺住職

野 沢 隆 幸

鶴見区生麦四―三一―四
電話 五一―一五―一七五

横浜市仏教連合会会計

曹洞宗弘聖寺住職

内 野 公 雄

緑区台村五四九
電話 九三一―二五二二

支部だより

保土ヶ谷旭区仏教会

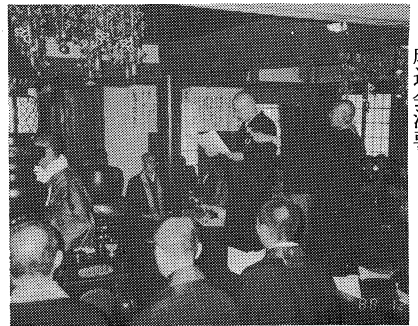
8月29日 役員会 正観寺に於て秋の仏跡参拝の件、山梨県恵林寺、雲峰寺参拝に決まる。
 県仏50周年記念大会に表彰者推薦の件。福聚寺、大蓮寺、東光寺に決定。
 寺院会計の件、税理士大笠氏より種々説明あり。随流院、福聚寺、三仏寺、正円寺、見光寺、福泉寺、天徳院、長見寺、遍成寺、長昌寺、正観寺、以上十一ヶ寺出席、ピーエス真川氏同席。
 10月30日 役員会 正観寺に於て成道会の件、12月7日、保土ヶ谷円福寺で。

托鉢の件 12月16日。鶴ヶ峰、希望ヶ丘、和田町各駅にて街頭托鉢。例年に準ずる。
 11月8日 県仏教会創設50周年記念大会に正観寺、三仏寺、福聚



年末托鉢

成道会法要



寺、東光寺、大蓮寺、随流院、出席。川崎大師に於いて。
 永年功労者として、福聚寺、大蓮寺、東光寺各住職が表彰を受ける。尚、県仏青として松田裕勝が出席する。寺内大吉師の記念講演あり、一同感激する。

11月13日 役員会 於正観寺、随流院、福聚寺、長昌寺、長見寺、正観寺、東光寺、見光寺、出席
 寺院七ヶ寺、新年会の件と区奉賛会の規約改正の件。
 11月18日 秋の仏跡参拝

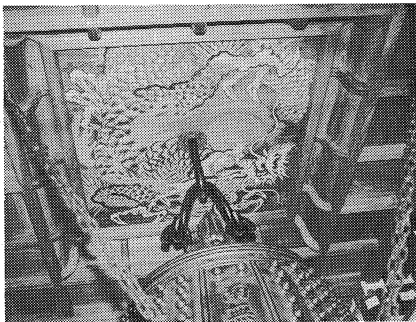
山梨県の恵林寺と雲峰寺に参拝予定であったが交通事情により恵林寺のみ参拝、恵林寺御住職南條大享老師の法話を頂き一同感銘する。快川和尚、恵林寺の歴史等につきゆつたりとした気持ちで法悦にしたる。参加寺院、長源寺、三仏寺、随流院、東光寺、長昌寺、金剛寺、安楽寺、正福院、正円寺、長見寺、見光寺、正観寺、十二ヶ寺、参加人員一八〇名。

戸塚区仏教会

十一月八日

神奈川県仏教会五十周年記念法要が、川崎大師平間寺様で厳修された折り、戸塚区仏教会及び県仏会の布教伝導と永年の地域活動のために、当、区仏会から左記の諸師方が表彰されました。
 浄土宗 清源院住職 永原文雄師
 曹洞宗 雲林寺住職 北見定賢師
 臨濟宗 北天院住職 桜井一溪師
 十一月二十一日
 浄土宗来迎寺住職 安田松樹上人の本葬儀

秋錦の彩の映える鏡映山往生院来迎寺では第二十四世松樹上人の本葬が東京仏通院上人大導師のもと檀徒葬として厳修されました。松樹上人は在住、四十年にわたり、檀信徒の教化と、本堂、書院庫裏の建立をはじめ、真面目の寺域を整備され、その法徳によって大本山から「中興開山」の尊称を授けられました。



桜井一溪師画の西立寺鐘樓

十一月十六日

浄土宗西立寺の鐘樓落慶法要戸塚町下郷、熊野山松樹院西立寺では住職山沢昌雄上人の発願と仏心、厚き檀信徒の浄財によって近隣に類のない総構造り、本茸銅板屋根の鐘樓が建立されました。鐘樓の天上には、品濃町北天院住職桜井一溪師の竜が画かれ、仏法守護の八方にらみをきかしています。

落慶法要は境内の大銀杏も金色に彩られ、五色旗のたなびく清城に、昌雄上人の初の一撞は韻韻とわたって、仏法教化の換起となつて響き渡ります。
 大本山増上寺、光明寺貌下の御臨席のもと、出頭寺院方三十余師と百数十人の檀信徒参詣のにぎざしい、鐘樓落慶法要が修行されました。

戸塚区から泉区・栄区の三区仏教会に分かれてから約五ヶ月、それぞれの仏教会もようやく軌道にのり、各区特有の持ち味を生かした、布教活動をしています。

金沢区仏教会

交通事故物故者追悼法要並びに交通安全祈願大般若転読法要
 十月二十二日 汗ばむほどの秋晴れのもと、寺前薬王寺本堂に於て金沢区仏教会、金沢区釈尊奉讃会主催により、金沢警察署長、金沢交通安全対策協議会長、交通安全協会員檀信徒多数の臨席を得て、交通安全祈願の運動に協力の一環として、第27回の法要が鹿野融雅

仏教会長を導師として厳かにとり

行なわれました。

各宗派二十六ヶ寺の住職が協力し一味和合の心で塔婆を供養し、出席した遺族にさし上げ、参列者一同焼香して冥福を祈りました。引き続き室内を荘厳し直し、楠玉のついたお守りを祈禱し、声高らかに、交通安全祈願の大般若経転読法要を修行しました。

毎年33回忌までの遺族に案内状を出していますが、今年も物故者名簿には二人の新らしい名前が記載されました。来年こそは一人も名を連ねないよう願っています。

私事ですが、先日乗用車を運転した折、対向車線は渋滞し完全停車の状態だったので、こちらは注意しながら進行中、案の定、何台目かのダンブカーの後から、突然70才位の男性が飛び出して来ましたが、とっさに急ブレーキをかけました。すぐには止まらず、間一髪10センチほど手前で停止し、あやうく難を逃れることが出来ました。大小の交通事故が新聞に載らない日はなく、しかも事故は年々増加する一方です。若い人の中に「お守りさえつけていれば、仏様が守ってくれるんだ」という人達がいますが、安全運転を常に心がけ、歩行者も共に交通ルールを守り、一人一人が注意しなければと痛感し、車内の隅につるされた楠玉のお守りに感謝しながら帰山しました。

交通安全行事主任 須方隆證記

(称名寺副住職)



栄区仏教会

市仏連会報第27号に詳しく御紹介をいただきましたので重複の嫌いがありますけれど、会則・役員などを決定し、栄区仏教会が設立されました此の機に、市仏連のお仲間にしていただけるよう念じながらご報告とご挨拶を申し上げます。

戸塚区仏教会時代地域ごとに班が作られていました。その中の豊田班と本郷班が、行政上分区しまして栄区内になります。そして豊田班長光長寺鷹巣道孝上人、本郷班長証菩提寺一守靈真上人の呼び掛けで、昭和63年8月19日上郷町光明寺(北條祐勝上人住職)に区内十四ヶ寺が集まり、栄区仏教会設立の為に話し合いを致しました。

次いで準備会の結果に従い、9月29日再度光明寺に集い、戸塚区仏教会の指導を受けて設立総会を開き、会則を成立させ役員を左の如く決めて発足致しました。

新参の小さな仏教会に、諸大徳の御教示をいただいで、全一仏教活動展開の一員として下さいますよう御願ひ申し上げます。

- 顧問 証菩提寺前任一守靈真 玉泉寺前任 鈴木璞藏
- 会長 大誓寺住職 塩沢栄一
- 副会長 般若院住職 星野英秀
- 理事 光長寺住職 鷹巣道孝
- 常務寺住職 田村謙昌
- 光明寺住職 北條祐勝
- 庶務 正翁寺住職 篁 素明

金沢区交通安全法要



○発足したばかりですが、11月8日川崎大師平間寺で挙行されました「神奈川県仏教会創設五十周年記念大会」の式典の中で、当会の顧問をお引き受けいただきました一守靈真上人が永年功労者として表彰を受けられました。上人は、先述の戸塚区仏教会本郷班長を二十有余年に亘ってお務め下さり、当会発足の準備に当たっていただきました。

ご自坊証菩提寺には昭和4年からご住職、その間、本堂の修復、庫裡・客殿・山門・鐘樓堂を相次いで新築され、三千区画もある墓地を造成し、内外共に充実の教化を続けられておられました。高齡のため、若さまに後をお任せになられました。境内に国宝阿弥陀三尊を安置するお堂のある静かな寺にゆっくりお過ごしのお老師に、長い間の御礼を申し述べ、表彰の喜びを会員一同で分かち合っております。 栄区仏教会 会長 塩沢栄一

己年を迎えて

瀬谷区西福寺住職 備前恭忍

瀬戸内寂聴師の『寂聴の般若心経・生きる』の著書(中央公論社刊)を読んだ。寂聴師の体験談を例話として、分りやすく心経を説いている。その挿話の一つに、中国の敦煌で出会った、よばよばのじいさんの僧の言葉に、心を打たれたことをのべておられる。その老僧は「私は三十六ぐらいの時から仏教に憧れたけれども、妻子があつてなかなかその思いが果せなかった。でも七十になって、もう子供的面倒を見なくていいし、これから自由にさせてもらおうと

思つて出家した。今七十三歳だが、僧になって、毎日が幸せだ。」というので、あなたは仏教をどういうふうと考えているのですかか聞いていたら、老僧は「仏教はいいことをして悪いことをしなさいけない、悪いことを教えている。また、人が悪いことをした場合も、自分が悪いことをしたというふうに感じる、その傷みを感じ、その人のために仏さまに懺悔する」と言うんです。私は七十三のみるからみえない、そのおじいさんの言葉に、とても打たれ、本当にそのとおりです。坊さんというのは、それでいいんです。と書いておられる。この老僧の仏教のとらえ方に拙僧も身がひきしまる思いを持った。すっかり仏道をなろうことに、怠惰になつてゐる我身に驚策があて

られ、また、振鈴により安逸のまどろみから目覚めさせられた様である。寂聴師の説法書を拝見し、自戒の念にかられている。大乘仏教では個人が救われるに他の生きとし生けるものが救われてこそと思うのが本當の菩薩道である、よく説かれる言である。今年の干支は己・み・である。年賀状にみ歳と漢字で書くとして、粉らわしい「巳」「己」「巳」の三字に迷つた。家族にきいたが、だれも正確に教えられない。「和尚さん、辞典を引くほうが早いよ」と言う。手元にある机上漢和辞典をみた。その違いを覚えるコツが記されてあつた。それによれば、「巳」シ・み・は皆、上に、「己」イ・すでに・のみ・やむ・は中ほどに、「己」キ・コ・おのれ・つちのと・は下につく。とあ



備前師所有の色紙から

備前師所有の色紙から

編集後記

- 今年は大行天皇の萌御という歴史上大きな変化の年であり私も昭和の人間は何か心にさみしさを感ずる。
- 新らしい元号は「平成」と称されたが、これからの時代は内外共に平らにして成ることを望む。
- 元号の改正と共に、私達横浜市仏教連合会の役員も三月三十一日をもって改選である。現役員全員手を結んで、最後の御奉仕に力をそいで少しでもより良い仏教会になるよう努力している。
- 改選にともなつて、昨年十二月六日の理事会において、役員選考委員会が発足した。役員は左の尊縮老師である。
- 委員長 泉区仏教会長
- 委員 香川 隆 善
- 委員 神奈川区仏教会長
- 委員 黒多 良 弘
- 委員 保土ヶ谷区仏教会長
- 委員 善 浪 鉄 心
- 委員 金沢区仏教会長
- 委員 鹿野 融 雅
- 委員 戸塚区仏教会長
- 委員 西尾 俊 雄